

絵本で語りかけてあげてください

赤ちゃんとの心のふれあいは、赤ちゃんに話しかけると、かわいいしぐさや表情を返し、それを見てまた話しかけることの繰り返しです。絵本を読んであげることも、こんな心のふれあい・語りかけのひとつで、心の栄養源なのです。

心を込めて読んであげるとお互いの気持ちが伝わります。絵本を通じて親子で笑ったり喜んだりしながら体を寄せ合い、気持ちを通わせることで、人々との信頼関係が育まれていきます。

親子でリラックスできる絵本タイムを

仕事や家事、育児など忙しい毎日を送られていることと思います。親も子もストレスの多い時代です。だからこそ、読み聞かせを通して親子がふれあう時間を作ってほしいのです。

ゆったりと声を出して絵本を読むと、読んでいる方も心が落ち着いてくるでしょう。赤ちゃんのためだけでなく自分自身のためにも、温かく楽しい時間を過ごすことができ、心にゆとりが生まれることでしょう。



おはなし会のご案内

中央図書館

〈びよびよおはなし会〉
日時…毎月第2・3水曜日
11時半～

あさくら図書館

〈あかちゃんおはなし会〉
日時…毎月第1土曜日
11時～

はき図書館

〈わくわくおはなし会〉
日時…毎月第4金曜日
11時～

毎月23日は 朝倉市子ども読書の日



©竹宮恵子

朝倉市子どもの読書活動推進キャラクター

親子のコミュニケーションをはぐくむ

10か月からの絵本



がたんごとん がたんごとん

安西水丸／さく

福音館書店

「がたんごとん がたんごとん」赤ちゃんの身近にある哺乳瓶やスプーン、果物たちが汽車に乗ってお出かけします。「がたんごとん」の言葉の繰り返しが楽しい絵本です。



まねっこおやこ

おくむらけんいち／さく マッティ・ビックヤムサ/え
ブロンズ新社

イオンのおかあさんが「ガオー」。おとうさんも「ガオー」。あかちゃんもまねして「キャオー」。みーんなそろって「ガオー！」まねっこページをめくるたびにみえてくる、きれいな色をたのしんでね。



朝倉市図書館

- ◎ 中央図書館
朝倉市甘木198番地1 ☎0946-22-3059
- ◎ あさくら図書館
朝倉市宮野1997番地 ☎0946-52-3434
- ◎ はき図書館
朝倉市杷木池田483番地1 ☎0946-63-3178

おでかけしようか

大阪YWCA千里子ども図書室／ぶん
福音館書店



帽子に水筒、リュックを持って・・・
赤ちゃんのおでかけの必需品を描いています。鮮やかで可愛い絵が目を惹きます。思わずお出かけしたくなりそうな一冊です。

あがりめ さがりめ

ましませつこ／さく
こぐま社



「あがりめ さがりめ ぐるりとまわって ねーこのめ」昔から歌い継がれているわらべ歌の絵本です。素朴でかわいらしい絵が魅力的な一冊です。

かんかんかん

のむらさやか／ぶん
福音館書店



いろいろな電車が通ります。んまんま列車にぶうぶう列車。次はどんな列車が来るのかな？赤ちゃんの大好きがたくさんつまった絵本です。

ねんね

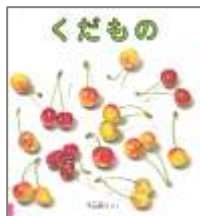
さえぐさひろこ／ぶん
アリス館



こぎつね ねんね やまねの ねんね。普段なかなか見られない動物たちの可愛い寝顔を撮影した写真絵本です。赤ちゃんのおやすみ前に読んであげたい一冊です。

くだもの

平山和子／さく
福音館書店



さくらんぼやリンゴ、季節の果物が思わず手を出しそうになるくらい、美味しそうに描かれています。本物そっくりのキレイな絵を赤ちゃんと一緒に味わって下さい。

おすすめのほん

美しい絵、美しい言葉で書かれた絵本は、豊かな心やことばを育てます。心に届く良い絵本を読んであげましょう。あせらず、ゆっくり、赤ちゃんのペースに合わせて親子で本を楽しみましょう。

ここに紹介した本のほかにも、たくさんの赤ちゃん絵本があります。いろいろな本に出会ってお気に入りの一冊をみつけてください。

(この10冊は全て図書館で借りることができます)

でてこいでてこい

はやしあきこ／さく
福音館書店



丸や四角、葉っぱなどの形から、動物たちが元気に飛び出します。リズムカルな言葉の繰り返しや、はっきりした色が小さな赤ちゃんにも楽しんでもらえる絵本です。

ぴょーん

まつおか たつひで／さく
ポプラ社



かえるや子猫が画面いっぱい「ぴょーん」と飛び出します。ページをめくる度に迫力満点！おひざに座らせた赤ちゃんを「ぴょーん」と持ち上げて親子の触れ合いを楽しんで下さい。

ぼほんびほんぼん

松竹いね子／ぶん ささめやゆき／え
福音館書店



「みんなのおへそはどこだ？」「ここ！」愛らしい動物たちが出てきて、自分のおへそを指さしていきます。お風呂に入るのが楽しくなれそうな一冊です。

くらい くらい

はせがわせつこ／ぶん やぎゆうげんちろう／え
福音館書店



「でんきをつけてちょうだい」というと、誰かがスイッチを押してつけてくれます。一瞬のうちに暗から明へ変わる喜びを描いています。次は誰が来るのかな？

ぶうぶうぶう

お一なり由子／ぶん はたこうしろう／え
講談社



お母さんが、子どものほっぺ、手、お腹に息を吹きかけ「ぶう」「ぶうぶう」。かわいいわが子の柔らかい肌に触れ、親子で笑顔になれる、スキンシップが楽しくなる1冊です。